

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：刑事警察費

事業名 防犯関係事務費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 生活安全部 生活安全総務課 電話番号：058-271-2424(内 3011)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 15,550 千円 (前年度予算額：24,573 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	24,573	0	0	24,573	0	0	0	0	0
要求額	15,550	0	0	15,550	0	0	0	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

公安委員会の所管する警備業、古物営業、質屋営業、風俗営業、銃砲刀剣類所持等取締法等に関する行政事務を効率的かつ適正に処理している。

警備業や風俗業を営む者、銃砲刀剣類所持者に対しては、法定講習を実施する必要があり、また、風俗営業許可等調査業務は専門性が高いことから業務委託を行っている。

今後も許可等事務の適正化と合理化を図り、不適正事案の防止と県民の負担軽減に努めていく。

(2) 事業内容

- ・ 警備員指導教育責任者講習
- ・ 機械警備業管理者講習
- ・ 警備員検定
- ・ 風俗営業(特定遊興飲食店営業を含む)管理者講習
- ・ 風俗営業(特定遊興飲食店営業を含む)許可

- ・ 構造設備変更承認調査
- ・ 猟銃等講習
- ・ 猟銃等所持者技能講習
- ・ 許可等事務業務管理システム維持費

(3) 県負担・補助率の考え方

公安委員会が所管する各種申請許可や各許可に基づく講習、調査の実施に要する負担であり、その財源は全額、警備業等の手数料を充当している。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	418	講習講師用、業務用
需用費	1,391	許認可関係用事務
役務費	1,271	講習通知・照会用郵便料
委託料	11,281	各種講習、許可等事務業務管理システム保守管理
その他	1,189	講師謝金、検定用資機材、会場借上
合計	15,550	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

公安委員会が所管する許認可事務のため、継続的に実施する必要がある。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 各種講習等を円滑・効率的に実施するとともに、許認可事務の適正化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H26)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R5)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

各種許認可事務手続きに係る事業であり、指標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	現任指導教育責任者講習等警備業関係講習、猟銃等の所持者に対する講習会、風俗営業所の健全化等のため風俗営業所管理者への講習及び営業許可に係る調査等について、主に業務委託により実施した。 また、許可等事務を適正に推進するため、業務管理システムを運用している。これらの講習等はすべて法令により定められた許認可に基づくもので、厳格に実施した結果健全な社会の維持につながった。
令和 3 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 4 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>風俗環境の浄化を推進、猟銃等の適正な所持許可は、地域の健全化と安全につながるもので、事業の必要性は高い。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：まだ期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>各種講習等に関しては、多数の受講・受験申込みがあるなど、適正な許認可業務の実施に寄与している。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>これまでは各警察署で審査してきた許可事務を、本部職員が行うことで正確かつ迅速な対応が可能となり、大幅な効率化が図られた。また、すでに業務管理をシステム化している。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 令和3年6月に銃刀法の改正によりクロスボウの所持等が規制されたため、県民に対する漏れのない周知、問い合わせや申請に対する適切な対応が必要となった。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 適切な許認可事務を推進することは、県内における安全・安心な社会を形成することにつながり、今後も継続して実施していく必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	